

そうじの力だより

VOL.206



支援事例紹介

店長のリーダーシップが、会社発展の力に
〜明るくキレイな霊園を展開する(株)西鶴〜

大阪府で、四つの霊園を展開する(株)西鶴。霊園＝墓地というと、「暗くて汚い」というイメージがありますが、同社は、それを覆す「明るくキレイな」霊園を実現しています。

西洋庭園を思わせる同社の霊園は、訪れる人々を癒し、楽しませるための様々な仕掛けや工夫が施されており、そのユニークな経営手法が注目を集め、テレビや雑誌などのマスコミでもひんばんに紹介されています。

四つのうち、二つの霊園は、樹木葬専用。霊園の真ん中には、大きなオリーブの木が植えられています。訪れる人たちは、お墓参りをした後、オリーブの木陰やベンチに座って、ゆったりとした時間を過ごしています。



オリーブの木を囲む樹木葬の霊園

ここ数年は、毎年、新卒採用を行っており、現在の人員は二〇名。私が環境整備のお手伝いを始めた八年前は、まだ、二つの霊園しかなく、人員も八名でした。まさに、飛ぶ鳥を落とす勢いで急成長しています。

四つの霊園があると、それぞれの霊園で、カラーが出てきます。当然、売上の成績にも差が出てきます。中には、なかなか整理整頓が進まない霊園もありました。

ある霊園では、当初は、社員さんたちのカバンの中身まで開けてもらって、中に入っている不要なものを捨てるよう、私はずっと横について手取り足取り指導したこともありました。

その霊園も、この二年ほどで、グンと良くなりました。以前は乱雑に収納されていた倉庫内のハンマーや刈りバサミなどの工具類も、今は、壁掛け式でキレイに並べられています。



壁掛け式で整えられた倉庫内の工具類

営業成績のグラフに使うマグネットも、ピルケースを流用して、きちんと分類して収納するよう



ピルケースを流用したマグネットの収納

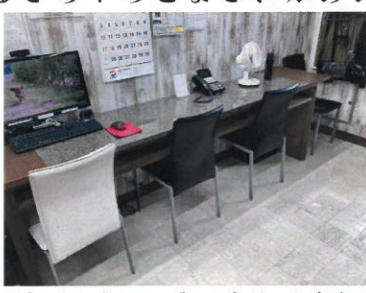
になりました。

ここまで良くなったきっかけは、思い切つて若い人に店長を任せただけのことだとうです。彼のリーダーシップで、この霊園そのものの雰囲気も、明るく前向きになりました。

他の霊園においても、やはり店長がリーダーシップを発揮できると、どんな整理整頓や改善が進んでいきます。

たとえば、こちらの霊園では、当初、事務所内には大きなデスクが置いてありましたが、もともと手狭な事務所が、このデスクのせいで、さらに狭くなっていました。

ところが、今回私が訪れたところ、デスクが撤去されて、代わりに、細かいカウンターのテーブルが壁沿いに設置されています。これなら、スペースも取らず、書き物をするにも十分で、事務所内の使い勝手もグッと良くなりました。



カウンター式のテーブルで広がった事務所

この霊園の店長は女性なのですが、どんなに改善のアイデアを出して、霊園を良くしていくてくれています。

四つある霊園のうち三つには、懐かしいレトロな路面電車が置かれています。実際に、大正や昭和初期の時代に走っていたものを、譲り受けたものです。

これを改装し、休憩所兼商談室にしていきます。車内のソファに座つて霊園を眺めていると、ゆったりと落ち着いた気分になります。電車＝旅立ちの霊園、という意味のようです。



霊園に置かれたレトロな路面電車

同社の山本一郎社長は、エネルギーシユなアイデアマン。次々と面白い取り組みを実行していますが、その根底には、「当たり前」の徹底的な環境整備を重視する姿勢があります。



みんなで協力して箱の内部を磨く

まだまだ同社の成長の勢いに衰えは見られません。(小早)

オンラインでの研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。